

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

目次

はじめに	… 1
沿革	… 2
寄付件数等一覧	… 3
本部	… 4
北陸支部	…16
東海支部	…20
東京支部	…26
岐阜支部	…29
中日青葉学園	…37
あおば館（児童養護施設）	…42
わかば館（児童心理治療施設）	…45
子育て短期支援事業	…53
社会福祉充実計画	…54
地域における公益的取り組み	…55
高額寄託者・一般	…56
高額寄託者・指定	…58

はじめに

社会福祉法人中日新聞社会事業団は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部と児童福祉施設「中日青葉学園あおば館」、児童心理治療施設「中日青葉学園わかば館」（どちらも愛知県日進市）の運営など幅広い活動を行っています。

昨年度、法人創立80周年を記念しイメージキャラクター「ロボラ」を作製、グッズも製作し、法人のイメージアップとPRに大活躍しました。社会福祉事業の見直しも引き続き行い、児童福祉と精神保健福祉への支援を充実しました。

平成30年度から10年計画で実施を始めた社会福祉充実計画などの新しい取り組みとともに、従来から必要とされている支援と併せ、事業団の活動の意義を示していきます。寄付者の皆様に、これまで以上に多くの寄付金を寄せていただけるよう社会福祉事業や公益事業の質を高め、その活動を説明していく責任を果たして参ります。

未曾有の大震災から8年が経ちました。発生翌日から受け付けを始めた東日本大震災義援金の募集は平成30年度末をもって終了し、当法人に寄せられた総額90億円を超えるご寄付は、全額被災地にお届け致しました。今後は、被災地域のニーズに柔軟に対応する為、現地で活動する団体に「東日本復興支援金」で直接支援して参ります。

日頃より、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、透明性のある法人運営、事業展開を通じ、一層地域に根ざした社会福祉法人を目指していきます。

令和元年5月
社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和11年12月設立の財団法人名古屋新聞善行会、翌年4月設立の社団法人新愛知社会事業団から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間228件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	財団法人「名古屋新聞善行会」と社団法人「新愛知社会事業団」が合併し、社団法人「中部日本弘徳会」を設立
昭和21年12月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和26年2月	同「中部日本新聞岐阜社会事業団（後に中日新聞岐阜社会事業団に改称）」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地（13,034㎡）の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部（金沢市）を設立
昭和57年3月	日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、中日青葉学園全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部（浜松市）を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部（東京都千代田区）を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	社団法人「中日新聞岐阜社会事業団」解散 中日新聞社会事業団岐阜支部（岐阜市）として設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」（愛・三・岐対象）創設
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に児童心理治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える
平成28年10月	中日青葉学園園舎内外塗装工事
平成29年	事業団創立80周年を迎える

《主な災害義援金》

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～31年3月31日	95,339件	9,088,915,451円
☆熊本地震義援金	平成28年4月15日～6月30日	13,932件	1,091,554,693円
☆九州北部豪雨災害義援金	平成29年7月11日～7月31日	2,025件	75,293,523円

事業件数

	主催	共催	後援	合計
本部	4	20	127	151
北陸支部	4	2	2	8
東海支部	9	0	10	19
東京支部	0	2	5	7
岐阜支部	8	7	19	34
合計	25	31	163	219

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本部		北陸支部		東海支部		東京支部		岐阜支部		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	341	94,849,948	48	1,379,894	26	1,150,236	18	5,093,363	51	3,345,867	484	105,819,308
年末助け合い	271	19,544,779	38	868,234	67	3,584,039	53	886,500	70	2,308,958	499	27,192,510
指定寄付金	176	20,707,556	12	60,000	8	383,105	36	849,582	14	1,162,754	246	23,162,997
災害義援金	299	11,169,938	14	391,474	34	1,175,261	139	2,198,675	67	1,424,680	553	16,360,028
合計	1,087	146,272,221	112	2,699,602	135	6,292,641	246	9,028,120	202	8,242,259	1,782	172,534,843

主な災害義援金と指定寄付金累計

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成31年3月31日)

	件数	金額
本部	64,587	7,497,482,293
北陸支部	1,908	82,821,479
東海支部	6,078	494,757,270
東京支部	7,617	209,456,415
岐阜支部	15,149	804,397,994
合計	95,339	9,088,915,451

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成31年3月31日)

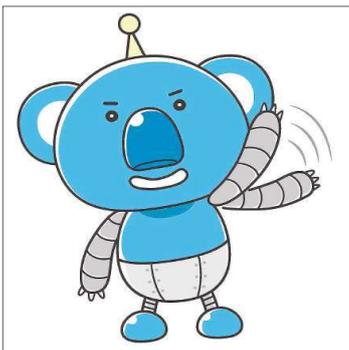
	件数	金額
本部	660	53,867,145
北陸支部	0	0
東海支部	7	122,705
東京支部	139	2,979,725
岐阜支部	128	3,755,340
合計	934	60,724,915

*震災翌日からの合計金額

<中日新聞社への協力>

・西日本豪雨義援金(7月10日～8月10日) 件数:9,240件 金額:529,263,200円

イメージキャラクター「ロボラ」



80周年を記念して、制作したイメージキャラクター「ロボラ」です。

困っている人に手を差し伸べる、心優しきコアアラ型ロボットヒーロー！

体には人助けのためのあらゆる機能が搭載されている。とっても温厚で、おっとりした性格。しかし困っている人がいたら、どんなことがあってもたすける！と心に誓っています。

本部（名古屋）

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成30年度は151件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援し、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

（1）児童福祉施設等支援事業

・第9回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会

（12月25日・武田テバオーシャンアリーナ）

日頃の練習成果を発揮するとともに、フットサルを通じて児童同士の交流を深めることを目的に開催した。18チームが参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会



プロ選手と交流する子どもたち

・第61回福祉施設「海の家」（7月23日～31日・篠島海水浴場＝南知多町）

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。21施設延べ約470人の児童が参加した。

主催：名古屋市、
名古屋市児童養護連絡協議会



海で遊ぶ子どもたち

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業（音楽の集い、運動会など）に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

（2）第15回名古屋市老人福祉施設作品展

（11月7日～11日・名古屋市民ギャラリー矢田）

名古屋市内の老人福祉施設を利用している方々が趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約4,800人が観覧した。
共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子どもたちを励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約 500 人。



カヌーを楽しむ交通遺児たち

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌースクール

(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を
励ます集い

b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第7回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム

(2月5日・ガーデンパレス)

「2040年の福祉社会をみつめて」をテーマに、住まい、移動手段などについてシンポジウムや活動報告を実施した。福祉関係者や関心のある人約 220 人が参加した。

共催：愛知県社会福祉協議会



会場の様子

d. その他

・第10回福祉の星フォーラム（9月23日・中日新聞本社6階ホール）

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。介護職員初任者研修資格を持つ芸人の「レギュラー」のトークライブやたかせクリニック理事長・高瀬義昌さんによる講演とともに日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約230人が参加し、交流も深めた。

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第68回児童園遊会（5月3日・東山動植物園）

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童約200人を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（岐阜・三重県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月9日・岐阜市民会館）、三重（11月11日・アドバンスコープADSホール）、愛知（11月25日・ウィルあいち）、各県2名、計6名に贈呈した。



愛知県の受賞者

b. 障がい者

・第56回特別支援教育展「きらめき展」

(2月19日～24日・名古屋市博物館)

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「かがやけ 自分らしさ」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室などで学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品を展示した。

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会



展示会場

・第23回長良川ふれあいマラソン大会 (10月7日・木曽三川公園)



スタート時の参加者

障がい者と健常者が共に参加できるマラソン大会。ふれあいを図り、障がい者福祉についての関心を深めることを目的に実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に関東、関西地区などから約1,000人が参加した。

共催：長良川ふれあいマラソン実行委員会
連携：岐阜支部

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第35回郷土の美術家100人展」

(12月3日～4日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立てている。



工芸作家大倉貞義・真汝夫妻と作品

・年末助け合い運動

(11月26日～12月28日・中日新聞支社、総・支局、通信部・局)

年末の約1ヶ月をキャンペーン期間とし、271件、19,544,779円が寄せられた。愛知、岐阜、三重各三県の生活保護家庭の小中学生にお年玉を贈るほか、福祉事業に助成した。



年末助け合い運動をPRするドアラ

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第40回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて5,507人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」(小学生1,500円、中学生2,500円)を贈呈した。(昭和54年から継続)



目録を受け取る河村たかし市長

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛知県	1,031	1,546,500	617	1,542,500	1,648	3,089,000
岐阜県	246	369,000	153	382,500	399	751,500
三重県	566	849,000	344	860,000	910	1,709,000
名古屋市	1,565	2,347,500	985	2,462,500	2,550	4,810,000
合計	3,408	5,112,000	2,099	5,247,500	5,507	10,359,500

▽第 62 回東海地区特別支援教育振興資金贈呈

(6月11日・中日新聞名古屋本社)

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第 44 回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金(2,748,601円)を計20の難病者団体に贈呈した。愛知県7団体(9月5日)、岐阜県5団体(9月13日)、三重県5団体(10月10日)。



県	団体名	県	団体名
愛知	愛知県難病団体連合会	岐阜	岐阜県難病団体連絡協議会
	愛知心臓病の会		日本ALS協会岐阜県支部
	愛知県筋ジストロフィー協会		岐阜県稀少難病友の会(くぬぎの会)
	日本マルファン協会(愛知県支部)		ぎふ低肺機能者グループ
	もやもや病の患者と家族の会 (もやの会)中部ブロック		つぼみの会 愛知・岐阜 岐阜支部
	脊椎靭帯骨化症患者・家族友の会 (あおぞら会)	三重	三重県難病団体連絡協議会
	名古屋IBD		全国膠原病友の会三重県支部
	三重県網膜色素変性症協会		
			三重後縦靭帯骨化症患者友の会
			全国筋無力症友の会三重支部

(3) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行ってきたが、平成31年3月31日で終了した。これまでに、本部に寄せられた義援金は、64,587件、7,497,482,293円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて9,088,915,451円を各県に贈った。宮城（19回：4,761,925,000円）、岩手（19回：2,338,175,000円）、福島（18回：1,761,622,096円）、千葉（1回：1億円）、茨城（8回：127,193,355円）。

・東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を平成26年8月に創設。第4回目として、31年3月7日（中日新聞社6階ホール）に贈呈式を行い、下記の9団体に贈った。



団体名	所在地
NPO 法人 仙台傾聴の会	宮城県名取市
一般社団法人 まなびの森	宮城県角田市
障害福祉サービス事業所 くじらのしっぽ	宮城県石巻市
東北大学福興 youth	仙台市
一般社団法人 ほまれの会	岩手県一関市
NPO 法人 いなほ	岩手県盛岡市
NPO 法人 いわき自立生活センター	福間県いわき市
NPO 法人 ビーンズふくしま	福島県福島市
NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部（現地事務所・福島県）	名古屋市

事業一覧 (本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/8	第38回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会	豊橋市総合体育館ほか
4/13～15	陶芸教室の教室展 第16回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	東桜会館
4/14～ 5/27	平成30年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/15～ 31年3/17	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/15	中部善意銀行55周年記念 '18チャリティー芸能まつり	後援	チャリティー芸能まつり実行委員会	愛知県芸術劇場
4/21～ 31年3/16	地域で支える寺子屋	後援	中区中学生の居場所づくり ボランティアグループ「キラキラ輝く会」	橘コミュニティセンター
4/22	チャリティーマラソンin庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/26～ 11/22	第15回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	パロマ瑞穂スタジアムほか
4/28	第8回ジョギングフェスティバル	後援	(公財) スペシャルオリンピクス日本・ 愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
4/29	第10回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保 カップ東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車いすツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
5/3	第68回児童園遊会	共催	名古屋市、(福) 名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/5～6	第48回中日本グランドソフトボール大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/17～19	第21回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2018～	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
5/20	日本リウマチ友の会愛知支部第55回大会	後援	(公) 日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち小ホール1
5/27	第33回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家後援 会	サマリアハウスほか
6/2～3	第29回東海聴覚障害者体育大会	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会	岡崎市中央総合公園内
6/2～3	平成30年度東海・北陸ブロック里親研究大会	後援	名古屋市親和会	名古屋国際ホテル
6/5～ 31年12/17	平成30年度面接教育相談事業	後援	(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/7～9/9	地域レクリエーション教室 (心身障害者療育キャンプ)	後援	(一財) 三重県知的障害者育成会	和歌山県ほか
6/9～10	文部科学大臣杯争奪第31回 日本車いすツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール連盟	静岡県磐田市 アミューズ豊田
6/10	第54回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	まつりの森(岐阜県)ほか
6/10	碧南市市制70周年記念パラリンピックを応援しよう! パラスポーツを体験・交流しよう!	後援	碧南市レクリエーション協会	碧南市臨海体育館
6/11	平成30年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室
6/12、7/25、 8/7、10/2	平成30年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部 名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院研修ホール
6/23	第10回福祉セミナー	後援	(福) 昭徳会	法音寺 開山堂
6/24	平成30年度 総会・医療講演会 (全国膠原病友の会 愛知県支部)	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市総合社会福祉会館7階
6/24、11/ 31年2/10	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県スポーツ会館
6/30	第54回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	ヤンマーミュージアムほか (滋賀県)
7/1	ソーシャルワーカーデー2018inあいち	共催	ソーシャルワーカーデー2017inあいち 実行委員会ほか	日本福祉大学美浜キャンパス

7/1	第35回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会	豊田市福祉センター
7/7	子どもセンター「パオ」12周年記念イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館 イーブルなごや
7/7~8	平成30年度療育事業(キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	志賀パークホテル(長野県)
7/8	第42回チャリティー民謡藤栄会発表会	後援	民謡藤栄会	愛知県芸術劇場大ホール
7/9	平成30年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財) 岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/10~14	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	メニコンANNEXギャラリーMenio
7/14~15	第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会	後援	(公財) 全国子ども会連合会	名古屋ローズコートホテル
7/21	第11回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/21~8/31	平成30年度高校生ボランティア活動並びに 体験文募集	後援	(福) 中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/22	愛知県肝友会第37回定時総会及び記念療育相談会	後援	愛知県肝友会	増子記念病院 第3会議室
7/23~31	第61回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/25	あなたのハートにサポートイン! 夏休みボランティア体験講座in南知多	後援	NPO法人東京ソテリア	サポートイン南知多
7/28	フォーラム超高齢社会を生きる ~認知症の人の思いから始めるまちづくり~	後援	(福) NHK厚生文化事業団	ウインクあいち大ホール
7/29	アートセラピーを学ぼう。講演・一日体験	後援	アートセラピー研究会	中京大学名古屋キャンパス
7/31~12/5	第32回ふれあいフォトコンクール	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
8/1~ 31年3/1	愛知県精神保健福祉の増進に関する ネットワークづくり実施事業	後援	NPO法人愛知県精神障害者家族会連合会	ウインクあいちほか
8/2~30	第27回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、 AICHI高校生交流会	岡崎市額田センターほか
8/6~8	サマーカヌースクール	後援	(公財) 東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡(滋賀県)
8/8	第60回名古屋市立小中学校特別支援学級 ・特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/9	第89回子どものための遊び方研究会	後援	中部日本生涯活動協会	愛知県共済生活協同組合8階大ホール
8/10~14	第45回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家
8/11	親子なかよしキャンプ	後援	NPO法人愛知県自閉症協会・つばみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/17~23	第33回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/18~19	第36回昭和区の福祉まつり ①シンポジウム ②本まつり	後援	第35回昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所
8/18~23	第46回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	蒲郡ホテル別館
8/20	平成30年度愛知県児童福祉施設入所児童 ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とぼね運動場
8/22	平成30年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター
8/23~24	夏だ!海だ!篠島だ!家庭養護の仲間たちで作る 離島自然体験活動	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	篠島(南知多町)
8/25	第36回チャリティー民謡発表会 優利会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
8/25~26	2018愛知県車いすテニス大会inNAGOYA (第60回東海車いすテニス大会)	後援	愛知県車いすテニス協会	名古屋市東山公園テニスセンター
8/26	平成30年度愛盲文芸大会	後援	(福) 愛知県盲人福祉連合会	明生会館(豊橋市)

8/26～12/16	平成30年度青少年の自立支援事業 「トライアルキャンプ2018」	後援	(公財) 愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
9/1～ 31年3/31	少年院成人式・卒業式での記念品贈呈 ・厚生保護施設行事の援助事業	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院、瀬戸少年院、 豊ヶ岡学園、厚生保護施設設立正園
9/2	平成30年度東海北陸ブロック車いす バスケットボール前期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
9/5、13、 10/10	平成30年成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
9/8～9	TOYOTA U25 日本車いすバスケットボール 選手権大会2018	後援	東海北陸ブロック車いすバスケットボール 連盟ほか	スカイホール豊田
9/9	第61回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	掛川花鳥園(静岡県)ほか
9/10～12/10	第66回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、事業所、 福祉団体
9/11	福祉車輛安全運転講習会	後援	(一社) 日本福祉車輛協会	彦根商工会議所(滋賀県)
9/13～14	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	南淡路温泉ホテル(兵庫県)ほか
9/16	第30回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者スポーツセンター 体育館
9/17	NPO法人愛知県難病団体連合会 第46回大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウインクあいち小ホール
9/22～24	第19回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	道徳公園野球場ほか
9/23	平成30年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	中日新聞本社6階ホール
9/28	第18回精神保健福祉ボランティア全国のつどい inあいち	後援	愛知県精神保健福祉ボランティア 連絡協議会	ウインクあいち
9/29	第3回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾パール卓球クラブ	西尾市総合体育館
9/30	第36回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会ほか	中村スポーツセンター
9/30	第42回'18愛のフェスティバル	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉会館・ ひろ場
9/30	平成30年度東海北陸ブロック車いす バスケットボール大会後期静岡大会	後援	東海北陸車いすバスケットボール連盟	静岡市北部体育館
10/1～7	平成30年度作品展「てをつなぐ」	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ここには
10/2～7	第11回ふれあいアート展	後援	(一社) 愛知県知的障害児者生活 サポート協会	名古屋電気文化会館東ギャラリー
10/3	第46回東海レディス・ブラザチャリティー・ バザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE6階クリエイト ホール
10/3～10	第70回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	(福) 愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル1階 プラザウェーブ21
10/6	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会 実行委員会	中区役所ホール
10/6	生き生き長寿フェア2018	後援	愛知県、(福) 愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園(大府市)
10/7	第23回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会 ほか	木曾三川公園特設会場
10/8	平成30年度世界精神保健デー普及啓発事業 イタリア精神保健法制定40周年記念プログラム	後援	NPO法人東京ソテリア	クリエイト浜松ほか
10/13	平成30年度里親制度普及事業 「あいフェスタ2018からみんなで育む子どもの笑顔～」	後援	名古屋市	名古屋駅なちゃんストリート イベントスペース
10/17～24	第74回ボランティアスクール	後援	(福) あさみどりの会	さわらび園(名古屋市)
10/21	国際吃音啓発の日記念「吃音啓発&相談会」	後援	三重言友会	四日市市総合会館
10/25	第57回全日本特別支援教育研究連盟全国大会 名古屋大会	後援	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本特殊陶業市民会館
10/28	第29回名古屋市精神障害者家族交流事業 「晴れときどき虹」	後援	NPO法人名古屋市精神障害者家族連合会	中区役所ホール

10/28	あなたが知ってる障がいてなに？ イマイキテル 知ろうとするより、感じてほしい	後援	やわしな会	守山文化小劇場
10/28	名古屋城パディウォーク2018	後援	名古屋すまいるマイル	名古屋城二之丸広場
10/28	第17回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
10/30	第66回愛知県社会福祉大会	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会ほか	ドルフィンズアリーナ
11/3	15thAJUウィンフェスタin多治見修道院	共催	(福) AJU自立の家ほか	神言会多治見修道院
11/4	第63回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福) 名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市中区役所ホール
11/7～11	第15回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/10	第56回愛知県子ども会大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	ウィルあいち
11/10	講演会「SOSを出せる町～子ども虐待・いじめ ・ひきこもり～」	後援	NPO法人あいちCAPプラス	岡崎市せきれいホール
11/11	平成30年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財) 三重県母子寡婦福祉連合会	アドバンスコープADSホール (名張市)
11/11	設立10周年イベント「10年のありがとう」	後援	NPO法人ぶくぶくぼるーん	名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂
11/16	第11回健康づくりウォーキング	後援	(公社) 名古屋市老人クラブ連合会	東山公園一万歩コース
11/18	第16回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ 岐阜大会	共催	(一財) 岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター長良川 競技場
11/18	第17回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/18	第51回愛知県視覚障害者福祉大会(名古屋大会)	後援	(福) 愛知県盲人福祉連合会	名古屋市港文化小劇場
11/18	第64回東海車椅子ツインバスケットボール 定期大会津大会	後援	東海車いすツインバスケットボール委員会	サオリーナ「三重県津市産業・ スポーツセンター」
11/24	第61回東海車いすテニス大会in鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
11/24	「多様な働き方を実現する取り組み」事業 精神障害者～IPS支援付き～雇用セミナー	後援	就労支援インクル	スタートアップガレージ(豊橋市)
11/25	平成30年度愛知県母子寡婦福祉研修大会	後援	(福) 愛知県母子寡婦福祉連合会	ウィルあいち
11/25	第40回音楽の集い「東尾張大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、 (福) 愛知県社会福祉協議会	豊明市文化会館
11/25	第15回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴言障害者協会	名古屋市北文化小劇場
11/26～ 12/28	平成30年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
12/1	第36回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者)福祉団体連絡協議会ほか	愛知県社会福祉会館
12/1	スマイルピースコンサート2018	後援	スマイルピースコンサート実行委員会	名東文化小劇場ホール
12/3～4	中日新聞年末助け合いチャリティー 第35回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/5	第23回中部善意銀行年末たすけあい チャリティーバザー	後援	(福) 中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 特設会場
12/9	第58回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社) 愛知県身体障害者福祉団体連合会 新城市身体障害者福祉協会	新城文化会館
12/9	第2回名美歳末チャリティー茶会	後援	名古屋美術商協同組合	名古屋美術倶楽部
12/15～16	地球組コンサート2018 “聖夜の街角にて”	後援	少年少女合唱団 地球組	アートピアホール
12/20	平成30年度地域共生社会推進セミナー	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会	アイリス愛知
12/21	尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館

12/23	2018中日青葉学園招待スケート教室	共催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	名古屋スポーツセンター
12/23	第52回交通遺児を励ます大会(記念大会)	後援	(公社) 東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/24	ISOGAI花火劇場inNAGOYA ～次世代を担う子供たちに美しい花火を～	後援	名古屋港冬花火実行委員会	名古屋港ガーデン埠頭
12/25	平成30年度第9回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会	武田テバオーシャンアリーナ
12/26	日本特殊陶業(株)がお贈りする 第6回ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業(株)	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
1/18	第42回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	ウインクあいち
1/19	平成30年度第16回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート(長野県)
1/28	山口修平氏から学ぶ「生教育」社会的養護下にいる 子どもの理解とその対応	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	篠島 浜辺の宿大舟
1/29	第7回知的な障害のある人の作品展「アートi」展	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田
2/3	平成30年度第33回愛知県児童福祉施設 親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場および 周辺道路
2/5	第7回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	(福) 愛知県社会福祉協議会	名古屋ガーデンパレス
2/6～11	第53回名古屋市障害者作品展	後援	名古屋市、 (福) 名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/11	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋ほか	ウィルあいち
2/17	小林春彦氏講演会 「『見えない障害』と『健常者福祉』」	後援	NPO法人アップルシード	新郷地域交流センター(さとの家)
2/19	第39回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財) 愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前ほか
2/19～24	第56回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/24	RDD(Rare Disease Day) 2019inあいち	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	金山南ビルイベントスペース
2/24	ジネンカフェvol.130～誰もが心安らかに暮らしてゆける コミュニティの在り方・育み方	後援	NPO法人まちの縁側育くみ隊	名古屋市総合社会福祉会館
2/24	第34回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセンター
3/3	第37回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会 (福) 愛知県社会福祉協議会	名古屋文理大学文化フォーラム
3/3	第21回あしたの天気にな～れ	後援	(一社) 愛知県精神保健福祉士協会	名古屋国際会議場
3/10	第25回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2019	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/10	里親子交流いちご狩りとセントレア滑走路ツアー	後援	名古屋市親和会	中部国際空港セントレアほか
3/16	内閣総理大臣杯争奪第47回日本車椅子バスケット ボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車いすバスケットボール連盟	名古屋市中村スポーツセンター
3/17	第48回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財) 東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/21	第17回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンター
3/23～ 31年6/10	世界が感動した☆スーパーミラクルイリュージョン☆ 木下大サーカス名古屋公演	後援	中日新聞社	白川公園特設会場
3/24	平成30年度陶芸教室	共催	愛知県ファミリーホーム協議会ほか	中日新聞社北館ホール
3/24～30	第37回愛知動作療法療育キャンプ	後援	第36回愛知動作療法療育キャンプ実行委員会 ほか	坂井温泉湯本館(常滑市)ほか

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社、富山主幹支局と緊密な連携をとりながら各県内の関係機関、団体などの協力を得て平成 30 年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学(職)支援 (3月14日・石川県内児童養護施設)

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成 24 年 3 月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として 30 年度も実施した。

県内にある児童養護施設 8 施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち 20 人に新生活の準備に役立ててもらおう。

(2) 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動 (11月26日～12月28日・石川県内)

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、38 件、868,234 円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設 8 施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

・あすなる親の会(ひきこもりを考える会)例会 (月1回・石川県内各所)

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月 1 回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

・「第 39 回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今年も表彰メダルや参加賞を贈った。

b. その他

・平成30年度 中日ボランティア賞

(表彰式：12月8日・ANAクラウンプラザホテル金沢)

石川、富山県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」(成人対象)と「中日あおば賞」(青少年対象)を統合し、今回で11回目。

各県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから多数の推薦があり、社内外の選考会で24件(石川14件、富山10件)が選ばれ、受賞者に賞額、記念品を贈った。

後援：石川県、富山県、二県教育委員会、二県社会福祉協議会、金沢市教育委員会



・乳児院に図書カード贈呈 (7月10日・石川県内)

石川県内の乳児院2カ所に、1施設あたり20,000円の図書カードを贈呈。

・第63回全国里親大会石川大会

(11月17日～18日・石川県地場産業振興センター)

全国の里親と関係者が集い、子ども達の養育に関する課題や、里親制度の現状について研究・討議を行う大会を支援。

・ 第 52 回全国子ども会育成中央会議・研究大会

(2月23日～25日・ホテル金沢)

子ども達が社会をたくましく生き抜くために必要な特性の涵養、及び子ども達の健全育成を目的とした子ども会活動への、保護者や行政の理解を深めるための大会を後援。

(3) 災害援護に関する事業

・ 東日本大震災義援金

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災における義援金が 8 年を過ぎても多く寄せられ、14 件、391,464 円が本部を通じて被災地へ届けられた。

平成 31 年 3 月 31 日をもって受付を終了した。

・ たまきはる福島基金

平成 24 年 3 月 1 日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けし、支部では 12 件、60,000 円が集まった。

事業一覧（北陸支部）

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
7/10	乳児院図書カード贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
11/17～ 11/18	第63回全国里親大会石川大会	共催	石川県里親会ほか	石川県地場産業振興センター
11/23	第39回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/26～12/28	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/8	平成30年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル金沢
31年2/23～ 2/25	第52回全国子ども会育成中央会議・研究大会	後援	公益社団法人全国子ども会連合会	ホテル金沢
3/14	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成 30 年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・ 浜松市内児童福祉施設入所者に「夏休み地球水族館」招待券を贈呈

(7月18日・浜松市役所)

浜松市内の母子支援施設 1カ所、児童養護施設 3カ所の入所者に、浜松市こども家庭部を通じて招待券を贈呈し、8月11日から26日までの開催期間中、会場のアクトシティ浜松展示イベントホールに186名が訪れた。

主催：中日新聞社会事業団東海支部

- ・ 第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会※台風で中止

(8月23日・湖西市みなと運動公園)

静岡県内の児童福祉施設 12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈ったが、台風接近により大会は中止となったため、盾などは次年度へ持ち越す。

主催：静岡県児童養護施設協議会

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・ 第41回静岡県ボランティア研究集会

(31年2月11日・富士宮市総合社会福祉会館ほか)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくり強化を目的とした集会。会を後援し、運営援助金 50,000 円を贈った。

主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

- ・ 第 18 回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技地区予選兼第 48 回盲連東海地区グランドソフトボール静岡大会

(5月26日、27日・エコパ多目的運動広場)

視覚障がい者が競技を通じて体位向上を目指し、自主的動作の訓練と協調性を高め、視覚障がい者の理解推進に努めることを目的に開催。

大会を後援し、参加賞としてタオルを贈った。

主催：(社福) 日本盲人会連合会東海地区連絡協議会、(公社) 静岡県視覚障害者協会

- ・ 第 19 回東海地区盲学校フロアバレーボール大会

(7月14日・静岡県草薙総合運動場「このはなアリーナ」)

愛知・静岡・岐阜・三重各県の盲学校・視覚特別支援学校の生徒によるフロアバレーボール大会。技術や体力向上をめざし、また生徒同士の交流と親睦を図る目的で開催。大会を後援し、参加賞のタオルを贈った。

主催：東海地区盲学校体育連盟

- ・ 第 32 回静岡オレンジマラソン大会

(11月10日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障がい者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO 法人静岡県作業所連合会・わ

- ・ 第 24 回東海地区特別支援学校知的障害教育校サッカー大会

(12月23日・エコパ人工芝グラウンド)

競技を通じ、知的障害教育校生の体力向上と健康増進を図り、対外試合で相互の交流や技術研鑽に努めるサッカー大会で、勝利を目指す本戦と、サッカーを楽しむためのフレンドリーマッチを行った。大会を後援し、賞状と楯を贈った。

主催：東海地区特別支援学校知的障害者教育校長会

b. その他

- ・ 第 35 回中日ボランティア賞

(贈呈式=10月17日・ホテルコンコルド浜松)

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より26件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部4団体、中部2団体、東部1団体）を選考委員会で決定。

10月17日ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金（1団体200,000円）を贈った。



第35回中日ボランティア賞贈呈式＝浜松市で

・年末助け合い運動（11月26日～12月28日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は67件、総額で3,584,039円となった。

・年末助け合い

第37回ふるさと知名人チャリティー色紙展

（12月1日～3日・遠鉄百貨店本館8階スペース8）

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家・漫画家など）から、チャリティーで色紙作品の提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購入（一部入札あり）、その収益金を寄付金とする主催事業。

中日新聞東海本社と連携をとり、浜松市の遠鉄百貨店の協力を得て開催。経費を除いた収益金（2,420,000円）の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月19日に静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第37回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

・生活保護家庭の中学生に図書カード贈呈（12月12日・静岡県西部地区）

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生 197 人（浜松市 162 人、湖西市 1 人、磐田市 14 人、袋井市 12 人、掛川市 7 人、菊川市 1 人）に、激励の意を込め図書カード 1 人 5,000 円分を贈った。お礼状には、高校受験やテストに備えて参考書を買ったと書いている生徒が多く、図書カードを有益に使っている様子がうかがえた。



生活保護家庭の小・中学生や保護者から

・ **生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈**

(31 年 2 月 6 日・静岡県西部地区)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童 36 人（浜松市 26 人、磐田市 3 人、袋井市 5 人、掛川市 2 人）に図書カード 1 人 3,000 円分を贈った。保護者からのお礼状には絵本や図鑑を購入したとの声や、覚え立てのひらがなでありがとうと書かれた新入学児童直筆のものもあった。

・ **社会福祉事業資金造成 第 35 回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会**

(31 年 3 月 20 日・豊岡国際カントリークラブ)

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、79,000 円の社会福祉事業資金が集まった。

・ **浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈**

(31 年 3 月 6 日・浜松市内)

平成 30 年度に中学校を卒業する浜松市内の交通遺児 1 人に、卒業祝いと激励の意を込めて、高校で使用頻度の高い電子辞書を贈呈した。浜松市子ども家庭部から情報提供を受け、直接郵送。

・ **交通遺児義援金の贈呈 (31 年 3 月 28 日・浜松市)**

浜松市および近郊在住の方々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。今年度は 285,460 円。

- ・ **寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）**

高齢のゴルフ愛好者で構成される寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

主催：豊岡国際カントリークラブ

- ・ **第28,29回スズキビジネスチャリティゴルフ大会**

（7月4日、12月12日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募る目的で開催しており、本大会を後援した。

主催：株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会

- ・ **静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成（5月・静岡県）**

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

（3）災害援護に関する事業

- ・ **災害義援金**

平成23年3月11日の地震発生後8年目となった東日本大震災義援金は30年度末で受付を終了した。30年度も34件1,175,261円の寄付があり、東海支部に寄せられた東日本大震災義援金の最終額は4億9479万660円となった。

H30年度事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
30年4月～ 31年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
30年5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
5/26-27	第18回全国障害者スポーツ大会ソフトボール競技地区予選 兼第48回盲連東海地区ソフトボール静岡大会	後援	(社福)日本盲人会連合会東海地区連絡協議会 (公社)静岡県視覚障害者協会	エコパ多目的運動広場 (袋井市)
7/4	第28回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
7/14	第19回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	静岡県営草薙運動場 「このはなアリーナ」(静岡市)
7/18	夏休み地球水族館へ浜松市内児童福祉施設入所者招待	主催	中日新聞社会事業団東海支部	招待券贈呈＝浜松市役所 特別展会場＝アクティビティ浜松 展示イベントホール
8/23	第47回静岡県児童福祉施設夏季球技大会 ※台風のため中止	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/17	第35回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松(浜松市)
11/10	第32回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場 (静岡市)
11/26～12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか 静岡県内
12/1～3	第37回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店本館8階 スペース8(浜松市)
12/12	第29回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/12	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に 図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
12/23	第24回東海地区特別支援学校知的障害教育校サッカー大会	後援	東海地区特別支援学校知的障害者教育校長会	エコパ人工芝グラウンドほか (袋井市)
31年2/6	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/11	第41回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	富士宮市総合福祉会館ほか
3/6	浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市
3/20	社会福祉事業資金造成 第35回中日杯争奪チャリティゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/28	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所

東京支部

本部および中日新聞東京本社(東京新聞)と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇社会福祉事業

・年末助け合い運動募金で寄せられた寄付のうち、一部を関東地方の乳児院に助成を行うための配分委員会設立に向けた準備を行った。

◇公益事業

(1) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者福祉事業

・ 第 22 回全日本 I D バレーボール選手権大会

(8月11・12日・浦安市運動公園総合体育館)

全日本 I D バレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。参加チームから各 1 名にベストプレイヤー賞を贈呈した。



ベストプレイヤー賞を受け取る選手たち

b. その他

・東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

埼玉県と千葉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計 75 万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県 越谷市	あゆみの会	石上 清	コーププラザ越谷 ほか
埼玉県 所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県 春日部市	春日部つながり カフェ	震災支援ネットワーク埼玉	コーププラザ春日 部
埼玉県 加須市	双葉町民による ボランティアカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	いきいきサポート センター(双葉町 社会福祉協議会埼 玉事務所内)
千葉県 松戸市	黄色いハンカチ		

・レイプクライシスセンター T S U B O M I に助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンター T S U B O M I」(望月晶子代表)に本年も 48 万円を助成した。助成は 7 年目。

・年末助け合い運動

11 月 26 日から 12 月 28 日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に 53 件、886,500 円の善意が寄せられた。今年度から配分委員会を立ち上げてより公平性を期するための準備を行った。さらに継続助成を行っている交通遺児育英会の活動を取材して東京新聞で掲載した。

(2) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌 12 日より東京本社と協力して実施。年度末をもって受け付けを終了した。

今年度東京支部へ寄せられた義援金は 139 件、2,198,675 円。

- ・ **たまきはる福島基金**

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は 21 件、205,000 円。

- ・ **西日本豪雨義援金**

7月5日8日にかけて西日本を襲った豪雨被害の被災者支援のため、7月10日～8月10日の間で中日新聞社と共同で義援金を受け付けた。東京支部へ寄せられた義援金は 1801 件、126,703,314 円。

- ・ **東日本復興支援事業**

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の行政ではできない復興支援活動への寄託を実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた支援金は 4 件、42,000 円。

事業一覧（東京支部）

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1～3/31	NPO法人「レイブクライシスセンター T S U B O M I」助成		中日新聞社会事業団東京支部	東京都内(東京都千代田区)
4/1～3/31	平成30年度震災・原発事故避難者支援事業 助成金		中日新聞社会事業団東京支部	埼玉県内各地
4/1～3/31	第21回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞社東京本社	東京新聞紙上
8/11～8/12	第22回全日本 I D バレーボール選手権大会	後援	日本 I D バレーボール連盟	浦安市運動公園総合体育館
10/10～ 10/12	第45回国際福祉機器展H. C. R. 2018	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト東展示ホール
10/8	2018グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社	駒沢競技場
11/21	第15回本間一夫記念日本点字図書館チャリティ コンサート	後援	(福) 日本点字図書館	東京文化会館小ホール
11/26～ 12/28	年末助け合い運動	主催・後援 (連携)	中日新聞社会事業団東京支部	東京都ほか

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。

「中日新聞社会事業団岐阜支部だより」を岐阜県版の毎週木曜日に掲載し、共催・後援・支援事業の告知に努めた。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・社会福祉施設花いっぱい運動

(5月25日贈呈式・県内50社会福祉団体)

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って、初夏に県内の各社会福祉施設に、苗・種子・球根を贈り、秋にその成果をまとめた冊子を製作し、関係者に配布、参加施設の内容や頑張りを紹介した。



花いっぱい運動贈呈式

協力：岐阜県遊技業協同組合

岐阜県内社会福祉事業協力会・岐阜県中日会（新聞販売店会）

・中日ロボラぎふ就学（職）支援金

(2月27日贈呈式・中日新聞岐阜支社)

今年度からの新規事業として県内の児童養護施設に入所している高校3年生に対し、大学や専門学校への進学及び就職など新生活に向けての準備を支援するため、1人3万円を支給した。



岐阜県児童福祉協議会井上会長に目録贈呈

今年度の対象者：34名

◇公益事業

(1) 保健医療電話相談事業支援

共催事業として、「中日新聞社会事業団岐阜支部だより」（毎週木曜日岐阜県版掲載）を通じて告知し、募集の支援を行った。

<主な相談内容>

・心の病家族電話相談（毎週火、木曜日）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に電話相談窓口を開設し、精神疾患や家族の支援を行った。

共催：NPO法人 岐阜県精神保健福祉連合会

・薬物依存症医療電話相談（毎月第2水曜日）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として薬物依存症患者に対しての電話相談を行った。

共催：NPO法人 岐阜ダルク

・介護者のつどい（岐阜市・大垣市・土岐市・高山市など県内10ヶ所）

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内11ヶ所で年間118回開催。もっと身近に相談できる「認知症カフェ」も各地で開設された。

共催：公益社団法人 認知症の人と家族の会岐阜県支部

(2) 講演会・講座の開催、支援事業

a. 講演会

・慢性腎臓病対策 市民講座「医療講演」後援

主催：NPO法人 岐阜県腎臓病協議会

(9月23日・OKBふれあい会館)

b. 講座

・要約筆記講習会後援

主催：NPO法人 ぎふ要約筆記サークルかがり火

(10月21日・岐阜市民福祉活動センター)

c. その他

・岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭後援

(9月23日・大垣市総合福祉会館)

主催：一般社団法人 岐阜県視覚障害者協会

・岐阜ダルクチャリティーコンサート後援

(10月27日・カトリック多治見教会)

主催：NPO法人 岐阜ダルク

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 障がい者支援事業

・ 第 16 回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

(11 月 18 日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンドゴルフの一層の振興及び、障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。中日新聞社ヘリによる花束投下も行った。

共催：一般社団法人 岐阜県身体障害者スポーツ協会 連携：本部

・ 第 18 回 CP サッカー全日本選手権大会

(9 月 29 日・長良川球技メドウ)

CP (脳性まひ者 7 人制) サッカーの認知度を高め、肢体不自由者のスポーツ参加の機会を促進する目的で、脳性まひ者のサッカークラブの全国大会を開催。日本 CP サッカー協会会長は、岐阜在住であり大会を後援し、支援した。

主催：一般社団法人 日本 CP サッカー協会

・ 岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

(10 月 6 日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

岐阜県内の特別支援学校(盲学校・聾学校を含む)17校の高等部の生徒たちが、トラック競技やフィールド競技の大会記録を目指す陸上競技大会。大会を後援し、盾・賞状・参加賞を提供した。

主催：岐阜県特別支援学校体育連盟、岐阜県教育委員会

・ 岐阜県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会

(12 月 9 日・岐阜県百年記念公園)

岐阜県内の特別支援学校高等部の生徒が、男子の部・女子の部・混合の部でたすきをつなぎ、学校対抗の団結と社会性を高めることを目的に開催。大会を後援し、盾・賞状・参加賞を提供した。

主催：岐阜県特別支援学校体育連盟

・ 東海地区盲学校第 25 回球技(ゴールボール)大会

(12 月 8 日・岐阜盲学校・岐阜中央中学校)

東海4県の盲学校（愛知2校・静岡2校・岐阜・三重の6校）参加の球技（ゴールボール）大会を岐阜市で開催。大会を後援した。

主催：東海地区盲学校体育連盟

・第27回中部手話スピーチコンテスト

（11月17日・中部学院大学各務原キャンパス）

聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害者福祉の推進を目的に、愛知県・石川県・岐阜県の高校生を中心に、中学生から社会人が出場。愛知・三重・岐阜県への社告を掲載し、中部地方最大の手話スピーチコンテストとして開催した。

共催：中部学院大学、岐阜県聴覚障害者協会

b. 子育て支援事業



東京ディズニーリゾート到着

・岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーリゾート旅行へ招待

（8月24日～26日・TDR）

岐阜市内の母子家庭の親子を対象に夏休みの思い出作りを目的に、バス2台を用意し東京ディズニーリゾート旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協会の資金協力で、6月に中日新聞の紙面や岐阜市の広報紙を通じ募集、2泊（車中）3日で実施。

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会

・多治見市の母子父子家庭ユニバーサル・スタジオジャパン日帰りバス旅行を後援（8月25日、大阪USJ）

主催：多治見母子父子寡婦福祉会

・岐阜県母子寡婦福祉連合会第17回母子部研修会を後援

（10月14日、岐阜県福祉農業会館）

c. その他

・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月6日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体22団体に対し250万円を、今年度の事業共催金・助成金として

贈呈した。

- ・ 年末助け合い運動（11月26日～12月28日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

- ・ 年末助け合い「第19回郷土の美術家ぎふ展」

（12月1日～4日・岐阜高島屋シネックスホール）



第19回郷土の美術家ぎふ展

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作120余点を販売、会期初日は開場前から50人程が並ぶなど好評を得た。また、会期後のネット販売も引き続き実施した。

※なお、今年度（第19回）をもって「郷土の美術家ぎふ展」を終了し、来年度は、本部主催の「郷土の美術家100人展」（松坂屋名古屋店南館マツザカヤホール）に統合する。

（4）災害援護に関する事業

- ・ 自然災害発生の援護活動

東日本大震災の義援金受付を実施したほか、西日本豪雨については、中日新聞が行う義援金受付の窓口業務を行った。

（5）その他

- ・ 招待事業

大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧（岐阜支部）

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
毎週 火・木	「心の病」家族電話相談(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会 (岐阜市)
年間	介護者のつどい(118回開催)	共催	認知症の人と家族の会岐阜県支部	岐阜中日ビルほか (岐阜市)
毎月 第2水	薬物依存症医療電話相談(11回開催)	共催	NPO法人岐阜ダルク	岐阜ダルク(岐阜市)
4/1--30	交通安全 反射たすき配布	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県中濃版エリア
5/25	社会福祉施設 「花いっぱい運動」贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設
6/3	NPO岐腎協大会	後援	岐阜県腎臓病協議会	不二羽島文化センター (羽島市)
7/17-19	大相撲名古屋場所に 福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	愛知県体育館(名古屋市)
7/26	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	メディアコスモス (岐阜市)
8/6	社会福祉団体共催・助成金等贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社 (岐阜市)
8/21-9/3	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
8/24-26	東京ディズニーリゾートバス旅行	共催	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーリゾート (千葉県)
8/25	ユニバーサル・スタジオジャパン日帰りバス旅行	後援	多治見市母子父子寡婦福祉会	大阪USJ(大阪府)
8/26	聞こえの悩み相談会	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	岐阜市民福祉活動センター (岐阜市)
9/23	慢性腎臓病対策 市民講座 「医療講演」	後援	岐阜県腎臓病協議会	OKBふれあい会館(岐阜市)
9/23	岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭	後援	岐阜県視覚障害者福祉協会	大垣市総合福祉会館(大垣市)
9/29	第18回CPサッカー全日本選手権大会	後援	日本CPサッカー協会	長良川球技メドウ(岐阜市)
9/30	岐阜県身体障害者中濃地区体育大会 (当日雨天中止)	後援	岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会	半布ヶ丘公園グラウンド(富加町)
10/7	第23回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (海津市)
10/6	平成30年度岐阜県特別支援学校体育連盟チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場(岐阜市)
10/14	岐阜県母子寡婦福祉連合会第17回母子部研修会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜県福祉農業会館 (岐阜市)
10/21	「かがり火」要約筆記講習会	後援	NPO法人ぎふ要約筆記サークルかがり火	岐阜市民福祉活動センター (岐阜市)
10/27	第52回岐阜県身体障がい者飛騨ブロック体育大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会、岐阜県身体障害者福祉協会	あさぎりスポーツ公園(下呂市)
10/27	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	NPO法人岐阜ダルク	カトリック多治見教会 (多治見市)

11/3--4	2018全日本パラカヌー長距離選手権大会	後援	(一社)日本障がい者カヌー協会	長良川サービスセンター (海津市)
11/5	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設、協力団体
11/6--19	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
11/18	第16回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場(岐阜市)
11/17	第27回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、(社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)
12/1--4	第19回郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜高島屋シネックスホール(岐阜市)
12/8	東海地区盲学校 第25回球技(ゴールボール)大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	県立岐阜盲学校 (岐阜市他)
12/9	平成30年度県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会	後援	県特別支援学校体育連盟	県百年公園(関市)
11/26-12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局 部及び中日新聞販売店
1/22--2/4	ふれあいアートステーションぎふ	後援	岐阜県身体障害者福祉協会	アートカフェ中日茶房 (岐阜市)
2/27	中日ロボラぎふ就学(職)支援金贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社 (岐阜市)

中日青葉学園

中日青葉学園は、平成 30 年度、創立以来 59 年の年月を数える。平成 15 年に児童養護施設「あおば館」と児童心理治療施設「わかば館」の複合施設となり、あおば館は定員 55 人、わかば館は定員 35 人。あおば館は、中舎 2 ホーム、小規模グループケア 3 ホームのユニット制。これまでの家庭的養護推進計画では平成 41 年度までにすべてを小規模にする計画だったが、平成 29 年夏に出された新しい社会的養育ビジョンを受け、平成 31 年中に都道府県計画の見直しがまとまる予定となっている。あおば館の地域小規模施設の新設や高機能化、多機能化、あおば、わかば両館の連携の在り方など、学園の将来像を検討している。

(1) 安心安全・権利擁護

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安心安全委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。月 1 回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。

被措置児童虐待防止に向け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。

(2) 問題行動・事故

性化行動は、あおば館 2 件、わかば館 4 件、うち両館に関わる問題 1 件の計 6 件。加害被害を生む大きな性問題も起こる。児童相談センターや医療機関などの関係機関と連携し、支援にあたる。また、ホーム職員の見回り等の徹底を強め、再発防止を図った。

児童の暴力が、わかば館 6 件あった。うち、児童間での暴力が 2 件、児童から職員に対する暴力が 4 件あった。高校生児童による職員に対する暴力が複数回あり、児童相談センターと連携し、指導にあたるが改善が見られず。措置変更となる。

無断外出は、あおば館で 1 件、わかば館で 1 件、玄関ガラスやベッドなど器物破損があおば館で 1 件、わかば館で 11 件あった。

自転車運転中の事故が、あおば館 1 件、わかば館 5 件の計 6 件あった。3 件は、登校中の自動車との接触事故で、擦り傷と打撲で通院するが、幸い大きなけがにはいたらなかった。児童の全体会で、交通ルールを再確認し、安全意識を高め再発防止に努めた。

それぞれの事案ごとに安心安全委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への報告・謝罪、再発防止検討・実施」をした。

(3) 苦情・意見

「なぜ、ロビーでは、勉強をしたらだめなんですか」と児童から投書がある。「ロビーはお客様の対応をする場所なので、勉強はホームか自分の部屋でがんばりましょう」と伝える。

「職員が勤務中に寝るのはどうなんですか」とわかば館児童からの投書を受け、全体会（職員と児童が集まる会）で「勤務中に寝るのはダメです」と職員に注意し、児童へは「職員も疲れていると寝てしまうことがあるので、そんな時は優しく声をかけてほしい」とお願いをする。このほか、園内に設置してある「苦情意見箱」には、児童から年間 36 件の苦情と意見があった。その多くが児童間でのトラブルの相談と訴えで、内容から特定できるものは、その都度職員が面談をして調整を行った。

(4) 合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4 月（新年度の心構え）5 月（中日新聞社会事業団社会福祉充実計画）6 月（処遇援助システムについて）7 月（熱中症・食中毒予防）8 月（中日青葉学園を考える会）9 月（過去の性的問題から学ぶ）10 月（インフルエンザ対策）11 月（バーンアウト対策）12 月（愛知県養育ビジョンについて）1 月（31 年度学園目標）2 月（規定改定・新規規定と運用について）3 月（危機管理体制について）。

5、6 月に 2 班に分かれて、岐阜県の児童養護施設「日本児童育成園」と、心理治療施設「桜学館」を見学した。

4 月と 12 月に、心と体のメンテナンス「ととの樹」代表杉浦庄氏を招き、職員の精神的負担の軽減を目的に、自立神経を整え精神の安定を図る「リセット」の研修を実施した。1 月には、全国児童心理治療施設副会長高田治氏（川崎こども心理ケアセンターかなで施設長）を招き、生活支援の質の向上を目的に「生活場面における発達のつまずきの表れとその対応」について学んだ。

(5) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、次のような活動をしていただいている。

▽「竹の子会」 毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「園十会」月2回、葉牡丹、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い（児童インフルエンザ発症時は休止）▽「クローバー」 月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」 社会人が青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月、クリスマスリース教室、3月、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動など。

(6) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 福井県若狭湾での海キャンプ（中高生）▽B班 幼児キャンプ▽C、D班 あおば館、わかば館の館別体験 岐阜県小黒川溪谷キャンプなど▽E班 川キャンプ（小学生）▽F班 幼児キャンプ 岐阜県・ひるがの高原一の6グループに分かれて楽しんだ。

第20回青葉まつりは10月27日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、子どもたちが運営する模擬店などを楽しんだ。舞台では、あおば、わかば両館の児童、職員が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は12月21日、愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会は12月30日、ボランティアの協力を得て行った。

(7) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月18日、開いた。対象者は、あおば館は、高校生5人、小学生1人、幼児2人、わかば館は、高校生1人、中学生2人、小学生2人の計13人が学校の卒業などで学園を退園した。卒園生は、思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちと在園生に思いを伝えた。会場には、日本フラワーデザイナー協会愛知県支部の協力で季節の花が飾られ、旅立ちにふさわしい華やかな雰囲気にも包まれた。

(8) 施設見学

自治体（民生児童委員）、学校など団体による主な見学者は次の通り。

6月 豊明市民生児童委員 10月 津島市民生児童委員、江南市少年補導員

1月 尾東小中学校視察、3月 蟹江町民生児童委員

(9) 職員表彰

勤続10年のわかば館1人、勤続15年のあおば館4人、わかば館2人を表彰した。

(10) 金銭管理体制の見直し

入所児童3人の預り金通帳が紛失、職員の不適切な取り扱いがあった。法人本部による内部業務監査などで問題の全体像が分かり、県、厚労省に報告。監査、指導を受けた。弁護士にも対応を相談した結果「児童の権利侵害にあたる」との指摘を受け、職員を懲戒処分とした。背景として、印章、通帳管理の相互けん制が十分はかれておらず、管理規程通りの運用がされておらず、月ごとの点検も不十分だった。今回、預り金、小遣いなどの管理規定を見直し、毎月のチェックを徹底することとした。

(11) 青葉を考える会

あおば館の小規模化が進み、厚労省が新しい社会的養育ビジョンを発表して、施設養護から家庭養護へ向かう方向性を示す中、大・中舎時代に作られた青葉学園の「理念・基本方針」「支援方針」を見直すこととした。複合施設として、両館の共通認識をどうするのか、あおば館での子どもの個別対応にどう取り組むか、対応が難しい子どもが増えるわかば館の支援にどう取り組むか、さまざまな意見が出された。課題は見えてきたものの、結論には至らず、31年度も引き続き、支援の在り方を探ることとした。

(12) 施設整備

31年1月から、わかば館の個室化工事を始め、3月までにあさぎの女子が引っ越した。もえぎの男子ホームは、3月末に完成。また、浴室もユニットバスに変えた。

子どもの支援記録システムを、ブルーオーシャン社のシステムに更新し、30年度から運用を始めた。分析、統計処理が容易に可能となり、子どもの成長の姿がわかるよう記録の積み重ねをしている。

(13) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当た

った。食物アレルギーのあるわかば館児童1人についてアレルギー食を用意、ホームでは、アレルギー専門医に通院しながら食の改善を進めている。

(14) 大学等進学支援

大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したわかば館1人、あおば館1人、あおば館退園生3人の計5人に法人本部から支援金を給付された。

(15) 外部との関わり

学園長が、日進市社会福祉協議会の理事、愛知署連絡協議会委員を務めるほか、職員が日進市の要保護対策協議会の委員や名古屋市キャリア支援アドバイザーになるなど各関連機関・団体の委員や講師として参加し、地域の子育て支援、地域福祉支援の一翼を担っている。

11月、福祉フェスティバルにっしんに出展、パネルで学園紹介をした。

(16) その他

あおば館わかば館とも30年度に第三者評価を受け、ケアの見直し、向上に努めている。医師や施設職員らでつくる「性の問題について考える会」の事務局を学園が引き受け、30年度は3回、講演を聴いたり、施設での具体例を参考に施設、病院、児関係者が課題を共有し、実践につなげる学びに取り組んだ。

くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出すなど学園行事に参加したり、くらちゃんハウスへ職員を派遣するなど、ファミリーホーム支援連携をした。

児童養護施設あおば館

あおば館は、4月、中舎（15人）2ホームと小規模ユニット（7、8人）3ホームの定員55人でスタート。中舎は男子「けやき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」（女子）3階「ひのき」（男子）「さくら」（男女幼児）。

職員25人、パート職員4人が児童のケアに当たった。

（1）入所実績

あおば館の定員は55人。この1年間に新たに2人（女子2人）が入所、8人（男子5人、女子3人）が退所した。

30年4月、小学校へ1人（男子1人）、中学校へ3人（男子2人、女子1人）、高校へ3人（男子2人、女子1人）それぞれ入学した。31年3月、小学校を1人（男子1人）、中学校を3人（男子2人、女1人）、高校を5人（男子2、女子3人）が卒業。中学校を卒業した3人は高校へ進学、高校卒業した子どものうち1人は専門学校へ進学、2人が就職した。

30年度の延べ入所者は16,425人。一時保護は61人、延べ422日。日進市の子育短期支援事業で1人を受け入れた。

（2）生（性）教育、安心安全委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP 暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学校低学年・同高学年に各ワークショップを行った。月1回性教育委員会を実施。性暴力や性問題の予防に努めている。

（3）食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場（子ども、職員）間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。クリスマス会などの行事では、子どもたちにアンケートを取り、栄養士と相談したうえでメニューを決めている。また、子どもたちの食について

て、個人の対応など細やかなことも相談できる環境があることは食育委員会の良いところである。各ホームでは、現場職員が夕食(ハンバーグ、オムライスなど)を作り、食事をした。

(4) 心理対応

常勤2人、非常勤1人の心理士3人体制。カウンセリングやプレイセラピー、などの個別心理療法を実施した。

(5) 個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童12人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので4人が家庭復帰した。

保護者がいても帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

(6) 退所者支援

退所後、就職で対人関係などの不適応から退職した人へ生活場所の確保、再就職の支援を実施。退所後も支援が必要な男女10人を継続して支援している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

(7) 職員研修

職員の援助技術や知識の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。

(8) 実習生

実習生受け入れは保育実習53人、社会福祉援助技術実習9人、心理実習9人、介護等体験10人。

(9) 学習

高校進学を目指す中学生3人が近くの塾へ通い、学習指導を受けた。小学生10人が週2回、ボランティア2人の協力で公文式学習をした。

(10) スポーツ活動

8月の児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、ソフトボール、卓球に参加。卓球では、団体優勝したほか中高生女子の部と小学生男女の部で優勝。12月の施設長会フットサル大会にも参加。2月の親善マラソン大会には、小学生低学年女子の部で3、4位、小学生高学年女子の部で6位入賞した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「被虐待児の受け入れ」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」「家庭的養護の推進」の9項目で7ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動として、小学生7人(希望者 男子3人、女子4人)が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、映画鑑賞、ボウリング、歓送迎会に参加した。施設として子ども会に対し、行事などでの道具の貸し出しや送迎などの協力している。

(13) 家庭的養護推進計画

推進計画の前期(27年から31年)では、定員を平成29年度60人、30年度55人と段階的に減らしてきた。31年度は50人する計画。

(14) 里親支援

本年度から、里親支援専門員を置き、里親開拓に向けた里親サロンに参加するなど、里親のレスパイト支援などにあたった。

児童心理治療施設わかば館

わかば館は、「もえぎ」（男子）「あさぎ」（女子）の2ホーム（定員35人）で子どもの生活を支えている。

副学園長兼館長、指導療育部長、指導課長以下、児童指導員と保育士13人、臨床心理士5人、看護師1人、非常勤職員2人で子どもの支援に当たっている。（医師、調理、事務も含めると計32人）。

「生活の質の向上を図るなかで未来に希望の持てる日常を取り戻す」を目標に掲げ臨んだ。無断外出、性的問題行動、自傷行為、児童・職員への暴力など厳しい対応に迫られながら、職員のチームワークで子どもを支えることができた。

本年度は大規模なリフォームを実施。「もえぎ」「あさぎ」それぞれ、2人部屋のうち4部屋と納戸を7部屋の個室にリフォーム。あさぎには宿直室の隣にスペースを作り1人部屋を追加した。リフォーム後は、もえぎ（2人部屋4部屋・個室9部屋）あさぎ（2人部屋4部屋・個室10部屋）となった。また、浴室を多人数で入る浴室が男女それぞれ1か所だったものを、それぞれ家庭用のユニットバスを2か所に増やした。これにより、プライバシーの保護と個別対応が強化された。

（1）入退所実績

わかば館定員は35人。この1年間に新たに8人（男子5人、女子3人）が入所、9人（男子7人、女子2人）が退所した。30年4月、中学校へ4人（男子3人、女子1人）が入学した。30年3月、小学校を5人（男子3人、女子2人）、中学校を6人（男子4人、女子2人）、高校を1人（女子1人）が卒業した。

中学校を卒業した6人は、1人は普通高校、1人は定時制高校、1名人は特別支援学校高等部へ進学。1人は長期入院後の為わかば館で療養し秋からの進学を目指している。上記の4人はわかば館で入所を継続。2人は家庭復帰をし自宅からの進学となる。高校を卒業した1人は家庭復帰し自宅から短大へ進学。

30年度延べ入所者は11,057人。一時保護は4人（男子2人、女子2人）延べ178日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職5人非常勤1人が、わかば館1階の治療棟で1回45分の個別の関わりを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづらさに折り合いがつけられるよう心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるように整えた。

非常勤精神科医2人は児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持ち、職員に対して、児童の精神状態やそれに合わせた療育方法についてのスーパーバイズを実施。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスも実施した。

(3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たり、更に成育歴など状況を再調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、1人が社会自立、8人が家庭復帰を果たした。

(4) 児童支援

入所児童の半数以上が、毎月1、2回の通院（愛知県医療療育総合センター・楓の丘クリニック・三重県立子ども心身発達医療センター・愛知三の丸病院・上林記念病院・愛知県精神医療センター・名古屋市中央医療センター・月下香庵）をする状況から、医療機関との連携の強化に努め、個々のケースに合わせて病院との個別カンファレンス・ネットワーク会議を実施。日々の療育や心理社会的治療に家庭復帰に役立てた。

日々の取り組みでは、「もえぎ会議・あさぎ会議（ガールズミーティング）」を実施。児童全員が毎日、一日の振り返りと自分たちの生活の向上を目的に、日課について話し合い、入浴時間などの見直しなどを行った。また、暴力についての解決方法等について話し合いをした。

中学校を卒業し高校へ進学した「帰る場所のない児童」については、わかば館から進学できるように支援を行った。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師が、全国児童心理治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加した。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、全国児童心理治療施設研修委員会、中部ブロック職員研修運営委員会は、伊藤課長が研修運営委員として活動した。

また「性問題について考える会」の事務局として、児童施設の性の見守りの向上を目的に運営を行った。

(6) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習27人、社会福祉士実習10人、教員免許特例介護体験12人、看護実習155人の実習を行った。

(7) 学習

担当職員を中心に、高校を受験する男子1人、女子1人に受験環境を整えると共に模擬試験の受験を促す等の個別対応を実施し、希望校合格につなげた。

週4回実施する中学生の学習時間には、学習が苦手の子どもに対し学習習慣の獲得を目的として新聞のコラム欄の書き写し等を実施した。

(8) 生活訓練

家庭復帰や就職後に想定される寮生活等に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験。バス、地下鉄等の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入して料理やお菓子を作った。

体験を継続したものにするため希望者を募り、「料理」、「園芸」、「手芸」のクラブを実施した。

暴力や暴言を減らし、安心安全な自己表現の促進を目的とした「セカンドステップ」を、小学生高学年を対象に実施した。

(9) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会(県児童福祉施設長会主催)では、

ソフトボール2部に1チーム参加しリーグ戦で2勝1敗と健闘を見せたが得失点差で入賞を逃す。卓球は個人戦に参加し、ベストを尽くした。

親善マラソンには小中学生が参加し、全員が完走を果たした。

(10) 和太鼓同好会

わかば館児童とあおば館児童の合同で、青葉まつりなど各種のイベントの機会を通して太鼓演奏を披露している。今年度は愛知県児童福祉施設長会主催の音楽の集いの開催施設であった事もありより精力的に取り組んだ。言語で表現が苦手な児童は太鼓を叩き、リズムに合わせて音楽を奏することで、相互の協調性や連帯感を育むことに寄与し、生活に意欲を生み出している。

(11) 器楽演奏部

わかば館児童の中学生以上の希望者でバンドを結成。初心者も多くいたが「音楽の集い」での発表を目標に練習を重ね、堂々とした発表をすることが出来る。また、施設内でのクリスマス会でも成果を披露した。

(12) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」「被虐待児の受け入れ」「退所支援事業」「保護者支援事業」の8項目で8ポイントを上げた。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数(平成31年3月1日現在)

あおば館 (児童養護施設)	人 員	担 当 職 務
館長(学園長)	1	運営管理
指導課長	1	指導統括
指導係長	2	生活指導
事務職員	1	
指導員・保育士	18	生活指導
主任心理士	1	心理治療(生活指導)
栄養士	1	栄養管理
給食係	3	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤	5	生活指導補助、心理治療、幼児教育、事務
小計	32	
わかば館 (児童心理治療施設)	人 員	担 当 職 務
館長	1	運営管理
医師(非常勤)	3	医療業務
指導療育部長	1	統括(あおば館兼務)
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導(統括)
主任指導員・保育士	1	生活指導
指導員・保育士	10	生活指導
事務	1	経理事務
看護師	1	健康管理
心理係長	1	心理統括 親子調整
主任心理士	1	心理統括
心理士	3	心理治療(生活指導)
給食係	4	給食実務
非常勤	3	生活指導補助
小計	32	
合計	64	

▽児童数 (平成31年3月1日) =一時保護を含む

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	4	5	8	7	0	24
	女子	6	15	2	6	0	29
わかば館	男子	0	6	7	1	0	14
	女子	0	8	5	4	0	17
計		10	34	19	18	0	84

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月	6日 北小学校入学式、高校入学式
	5日 日進中学校入学式
	27日 青葉分校スポーツフェスティバル
	29日 「つつじの会」
5月	3～5日 GW外出 トランポリンハウス、東山動植物園、鞍が池公園
	7日 オペラ デイナー招待
24、25日	中部児童養護施設協議会総会
	30日 施設長会総会・児相センター長合同会議
6月	2日 北小学校運動会
	13日 職員研修第1班（日本児童育成園、桜学館） 第2班 7月18日
	16日 青葉スポーツ交流会
	30日 ルーキーズ 職業体験
7月	23、24日 目的別活動A 中高生・福井県若狭湾海キャンプ
	26、27日 目的別活動B 幼児キャンプ
	30、31日 目的別活動C D あおば館、わかば館別体験 岐阜県小黒川漆谷キャンプなど
8月	2日 高校生交流会 I 部
	2、3日 目的別活動E 小学生・川キャンプ 岐阜県・めいほうキャンプ場
	7日 目的別活動F さくら 岐阜県・ひるがの高原
	20日 施設長会ソフトボール大会参加
	23日 施設長会卓球大会参加（あおば館A団体優勝、個人の部2人優勝）
	28日 ドッグ訪問
	29、30日 高校生交流会 II 部
9月	1日 わかば祭り
	27日 日進中学校体育大会
10月	6日 韓国青年商工会による焼き肉訪問
	20日 USJ 招待
	27日 第22回青葉まつり
11月	1、2日 日進中文化祭
	16日 北小学校学習発表会
	25日 音楽の集い東尾張大会 事務局を務める
	28日 シルクド・ソレイユ招待

12月	15日	NFDクリスマスリース教室
	8日	高校生交流会 Ⅲ部
	21日	クリスマス会
	22日	中日森友隊園内整備
	23日	スケート招待
	25日	施設長会フットサル大会参加
	30日	もちつき大会
1月	1日	白山宮初詣
	14日	BOYS AND MEN招待
	19日	わかば個室化工事 あさぎ仮住まい引っ越し
19,	20日	伊那スキー村に参加
	26日	スターターズセミナー
2月	3日	寿し正さんの恵方巻き
	3日	施設長会親善マラソン大会、旅立ちセミナー
	11日	テーブルマナー教室
3月	1日	高校卒業式
	2, 3日	ディズニーランド招待（あおば） 16, 17日 USJ招待（わかば）
	2, 3日	わかば館個室工事 あさぎ完成し戻る。もえぎ仮住まい引っ越し
	5日	日進中学校卒業式
	20日	北小卒業式
	23日	巣立ちの会、卒園パーティー、離任式、
	23日	日進ベタニヤ幼稚園卒園式
	27日	いちご動物園



5月7日オペラディナー招待
でケーキづくり



6月2日 北小運動会



7月23日目的別活動 海キャンプ



8月23日 施設長会卓球大会団体優勝
個人2部門優勝



8月28日 ドッグ訪問



11月25日 音楽の集い東尾張大会



10月27日 青葉祭り



12月25日 フットサル大会参加



3月2日ディズニー招待



3月23日 巣立ちの会

社会福祉充実計画

当法人では、本年度から厚生労働省より認可をうけ10か年にわたる社会福祉充実計画を策定。(表-1)

本年度は、計画の1年目として以下のとおりの事業を実施した。

(1) 社会福祉助成事業

愛知県を中心に中部地域、関東地域の社会福祉事業実施団体に対し平成30年12月1日～12月28日に申請受付。児童養護施設や特別養護老人ホーム、放課後デイサービスなどから申請があり、平成31年2月4日に開催した配分委員会で承認を受けた15事業に、総額2,243万円を助成した。

(2) 中日青葉学園わかば館 個室化工事

児童心理治療施設である中日青葉学園わかば館は、2人部屋と4人部屋中心であり、一人の時間を保証することで入所児童の特性によるトラブルの回避やプライバシー確保を目的として個室化工事を実施。また男女1か所ずつあった大浴場を家庭用のユニットバス男女2つずつに改装。家庭復帰後の生活に近づけた。併せて、老朽化していたエアコンの取り換えも実施している。

総工費は6,091万2千円。

【表-1】社会福祉充実計画（総額4億2137万円）

(千円)

計画の種別	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目
社会福祉助成	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
施設整備	35,000	55,000	21,800	—	—
小計	57,000	77,000	43,800	22,000	22,000
計画の種別	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目
社会福祉助成	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
施設整備	—	—	—	24,570	65,000
小計	22,000	22,000	22,000	46,570	87,000

《施設整備》

児童心理治療施設個室化工事（1か年度年目）

児童心理治療施設学習棟特別教室建替工事（2か年度目）

児童養護施設小規模グループケア化工事（3か年度目、9か年度目）

児童養護施設地域小規模児童養護施設建設工事（10か年度目）

地域における公益的な取り組み

当法人では、中日青葉学園内にフリーダイヤルを設置し、社会福祉士、保育士、心理士などによる地域住民からの子育て相談を実施。

平成30年度の利用実績は下表のとおり。

【新規相談件数】 総数 2件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

【継続相談件数】 延べ件数 0件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【主な相談内容】 ※重複あり

子育て一般	発達相談	不登校	虐待	いじめ	その他
0	1	1	0	0	0

高額寄付(一般)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)敬称略、順不同

本 部(20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
AIRG(あいある)	東浦町	名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市
愛知日産自動車(株)	名古屋市	名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市
PSM協力会	名古屋市	名古屋美術商協同組合	名古屋市
佐々木 繁	名古屋市	NUBC国際協力チャリティーハザー事務局	日進市
三浦 小春	桑名市	昼川 三津男	刈谷市
池田 淑照	碧南市	稲沢市職員互助会	稲沢市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	東海マツダ販売労働組合	名古屋市
全ヤマナカ労働組合	名古屋市	ナゴヤアドベンチャーマラソン実行委員会	名古屋市
(公社)日本ダンス議会 中部総局	名古屋市	五月会	名古屋市
中日ドラゴンズオンラインクラブ	名古屋市	鞍馬山別院 弘恵寺	豊田市
国際ソロプチミスト瀬戸	尾張旭市	加藤 等	名古屋市
(株)アトコ	名古屋市	東郷産業(株)	名古屋市
中央電気工事(株)	名古屋市	(株)真城ホールディングス	名古屋市
ヤマトホールディングス(株)	東京都	名古屋競馬(株)	名古屋市
ミッドランド税理士法人アライアンス	四日市市	新東工業(株)	名古屋市
犬飼 信雄	名古屋市	高田中高等学校	津市
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	石原住宅(株)	名古屋市
知多信用金庫	半田市	松本三良記念福祉会	東海市
(株)善都	豊田市	名古屋トヨペット(株)	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	(公社)中部日本書道会	名古屋市
豊田市本町自治区老人	名古屋市	大須年忘れチャリティー歌合戦実行委員会	名古屋市
学校法人 海陽学園	蒲郡市	トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市
2018海陽祭実行委員会		尾西作家協会	一宮市
荒川 光夫	名古屋市	名城大学附属高等学校	名古屋市
ナカムラ化学工業(株)	名古屋市	ネットヨタ中部(株)	名古屋市
愛知県中小企業共済協同組合	名古屋市	スマイル&グッド(株)	刈谷市
近藤産興(株)	名古屋市	愛知調理専門学校	名古屋市
協栄興業(株)	東海市	東海主婦のコーラス連盟	名古屋市
協栄会・協友会	東海市	藤田医科大学病院	豊明市
おおやま歯科医院	名古屋市	(一社)パッションリーダーズ	東京都
税理士法人のぞみ	名古屋市	萩原電気ホールディングス(株)	名古屋市
あいち知多農業協同組合	常滑市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村
トヨタ紡織 飛躍の会・工の会・職長会	刈谷市		

* 匿名は省かせていただきました

高額寄付(一般)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)敬称略、順不同

北 陸 支 部(10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
故・赤尾新一・芳枝	七尾市	石川交通(株)	金沢市
石川近鉄タクシー(株)・同労働組合	金沢市	こぼと保育園・第2子ども園	小松市
兼六サンシャイン	金沢市		

東 海 支 部(10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
静岡ヤマハOB連合会	浜松市	竜ヶ岩洞	浜松市
やすゆき&アンサンブルの夢時間	浜松市	株式会社ミダック	浜松市
浜松倉庫株式会社	浜松市	浜松現代書作家クラブ	浜松市
アベル株式会社	浜松市	第37回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市
富士部品製作所	湖西市		

東 京 支 部(10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
川崎野球協会 審判部	川崎市	「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市

岐 阜 支 部(10万円以上)			
寄託者名	市町村名	寄託者名	市町村名
大竹一馬	岐阜市	岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市
ロータス岐阜(株)	岐阜市	中部日本書道会岐阜支部	揖斐川町
岐阜ゾンタクラブ	岐阜市	中部日本書道会濃飛支部	中津川市
ぎふ国際高校生徒会	岐阜市	教養の森管理事務所	関ヶ原町
岐阜信用金庫	岐阜市	日本合成化学工業(株) 寿会	大垣市

高額寄付(災害・指定)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)敬称略、順不同

本部(20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
三浦 小春	桑名市	中日青葉学園
(株)大矢相互不動産	稲沢市	中日青葉学園
今枝 久美子	名古屋市	中日青葉学園
東晃鋼業(株)	飛島村	中日青葉学園
大本山 成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
大本山 成田山名古屋別院大聖寺 索の会	犬山市	難病者激励金
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
(株)豊田自動織機		大相撲名古屋場所招待
酒井 金次	一宮市	東日本復興支援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
田中 恭一	名古屋市	東日本復興支援金
安井 義博	名古屋市	東日本復興支援金
水谷興業(株)	東海市	東日本復興支援金
(株)アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
アントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘 妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会(震災遺児支援)
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳下傷友の会みずほ
西浦不動無量寺	蒲郡市	がん撲滅

* 東日本大震災義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)敬称略、順不同

東海支部(10万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
ネットヨタ浜松(株)懇話会	浜松市	交通遺児義援金

* 東日本大震災義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)敬称略、順不同

岐阜支部(10万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
岐阜県中日会(新聞販売店会)	岐阜市	花いっぱい運動
岐阜県遊技業協同組合	岐阜市	花いっぱい運動
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	母子家庭東京ディズニーリゾート旅行

* 東日本大震災義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

	所在地
本部事務局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北陸支部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東海支部	〒435-8555 静岡県浜松市東区薬新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東京支部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐阜支部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315